

編集・発行：愛川町スポーツ協会啓発宣伝委員会  
 発行責任者：愛川町スポーツ協会会長  
 事務局：愛甲郡愛川町角田 251-1  
 教育委員会スポーツ・文化振興課  
 電話：046-285-6958  
 2023年3月15日発行  
 発行部数：10,250部(全戸配布)

愛川町スポーツ協会情報誌

# Sports Aikawa

健康な光



## 2022 あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル

三年ぶりの開催に笑顔あふれる

白井健三さん・小椋久美子さんとともに



白井健三さんと参加者の皆さん(撮影時のみマスクを外しました)

令和4年10月9日、秋のスポーツイベント「2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル」(主催：愛川町・愛川町教育委員会 実施主体：2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバル実行委員会)が第1号公園で開催されました。2019年の実施以降、開催中止となっており「1スポーツレク」ですが、感染予防対策に配慮を重ね、三年ぶりに開催することができました。



白井さんの体操教室

三さんと、北京オリンピックバドミントンで入賞された小椋久美子さんが会場を訪れ、トークショーや教室、質問コーナーなどで、会場の皆さんと楽しいひと時を過ごすことができました。



小椋さんとのバドミントン教室

このでできるたくさんスポーツメニューや、折り紙やビー

さんの華麗なショット、世界のプレーを間近で見ると感動した皆さんは、お二人からの丁寧なアドバイスにより、それぞれの競技の楽しさを感じることができました。



目指せゴール！キックターゲット



選手とタッチ！ラグビー体験



小椋久美子さんと参加者の皆さん(撮影時のみマスクを外しました)

ズアートの作成などのレクリエーションメニュー、さらには、SC相模原によるサッカーや、三菱重工ダイナボアーズによるラグビー体験教室など、盛りだくさんのメニューにより、親子で、仲間と、素敵の秋のひとときを過ごすことができました。

**スポーツ少年団 加盟団体**

- 半原剣道愛好会(剣道)
- 中津少年剣道同好会(剣道)
- 第二小剣友会(剣道)
- 菅原剣士会(剣道)
- 愛川町剣道教室スポーツ少年団(剣道)
- ホワイトイーグルス(野球)
- レッドベアーズ(野球)
- 愛柔会(柔道)
- ハリマオサッカークラブ(サッカー)
- 愛川ジュニアバドミントンクラブ(バドミントン)

そして、本協会は、一昨年、体育協会からスポーツ協会に名称を改め、スポーツを通じて生涯にわたる心身ともに健康で文化的な生活を営むことができる社会の構築に向けて、更に魅力あるスポーツの普及と定着化を図りながら、より一層の組織の確立と、愛川町のスポーツのさらなる発展に寄与してまいります。

私たちがスポーツ協会といたしましては、町民皆さんで新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、健康維持・増進のための運動、生涯スポーツの充実と競技スポーツの向上、さらには指導者の育成など、町のスポーツの振興に寄与してまいりたいと存じます。引き続き、会員皆様方の御指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

スポーツ協会またはスポーツ少年団に加盟しているスポーツに興味がある方はお問い合わせください。また、当協会・少年団に加盟したいスポーツ団体もぜひご相談ください。少年少女からシニア世代まで、スポーツの力で健康で活力ある毎日を！

**スポーツ協会 加盟種目協会**

- 陸上競技協会
- 野球協会
- バレーボール協会
- 剣道協会
- 卓球協会
- ソフトテニス協会
- レクリエーション協会
- バドミントン協会
- テニス協会
- バスケットボール協会
- ソフトボール協会
- サッカー協会
- 水泳協会
- スキー協会
- ゴルフ協会
- ゲートボール協会
- ペタンク協会
- ターゲット・バードゴルフ協会
- ソフトバレーボール連盟
- 山岳協会
- 柔道協会

日ごろから本協会の事業運営に對しまして、格別な御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、各種目協会の皆様におかれましては、町民の健康維持や増進のための運動、生涯スポーツの充実と競技スポーツの向上、さらには指導者の育成などについて、御尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍ではありませんでしたが、「カタル」でのサッカーワールドカップが開催され、日本がドイツ、スペインに勝利するというドーハの歓喜に日本中が興奮しました。惜しくもベスト8に進むことはできませんでしたが、次回こそは期待をいたしたいと思います。

また、町内におきましても、ここ数年はコロナ禍で開催できませんでしたが「スポーツ・レクリエーション・フェスティバル」にたくさんの方の町民の皆様が御参加いただきました。さらに、新春恒例の「町一周駅伝競走大会」にはたくさんの方の御参加をいただきたくともに、多くの関係者の御協力と応援をいただき中々走るランナーとともに感動と勇気を与えていただきました。



愛川町スポーツ協会 会長 古座野君夫

### 愛川町出身のアスリート情報

## 田中幹也さん(中津出身)NPBドラフト6位指名

2022年10月20日、日本野球機構NPBドラフト会議が行われ、本町出身の田中幹也選手(亜細亜大学四年)が中日ドラゴンズに指名を受け、入団が決定しました。

田中選手は、身長166センチメートル、体重68キログラムの身体で、持ち前の俊足と好守を發揮し、プロの世界での活躍が期待されます。

小学校二年生の時に中津リバースで野球を始めた田中選手は、高校二年生の時には、西東京代表東海大菅生高校で第99回全国高校野球選手権に出場。機敏な身のこなしと神出鬼没のポジショニングで「忍者」の愛称が定着した。亜細亜大学進学後は、一年時から活躍するも、三年時には難病の潰瘍性大腸炎を発症、野球を続けることすら危ぶまれた状況にありましたが、両親やチームメイトなど、自らを取り巻く多くの人の支えを力に、見事復帰、四年時には第71回全日本大学野球選手権で優勝するとともに、最高殊勲選手に輝きました。

難病を乗り越え、日本一の主将に。今後、さらに進化を続け、プロの世界で活躍する田中選手に期待しています。

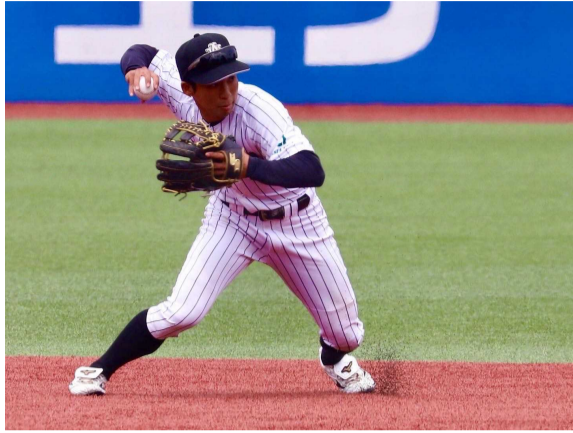
#### 〈田中幹也選手からのメッセージ〉

野球を始めたのは二歳くらい。風船をおもちやのバットで打って遊んだことから始まり、小学校二年生の時、中津リバースに入団。そこから野球人生が始まりました。

もっと上手になりたいと、父と休みの日には練習しました。練習は、守備とバント。これが今でも生きていると感じています。

プロの世界では、より高い技術が求められます。は、走力をアップして開幕一軍。

一年前、難病の潰瘍性大腸炎から大腸全摘手術を受け、そこから復活ができたのは、周りの方々、仲間たちの励みがあったからです。人は、一人では生きていきません。どうか仲間や友達を大切に、今できることを精一杯頑張ってください。私も頑張ります。



## 平本世中さん(中津出身)ツアープロとして活躍

ツアープロとしてスタートした2022年、フジサンケイクラシック(9月1日〜4日)、ANAオープンゴルフトーナメント(9月15日〜18日)、そして、歴史ある日本オープンゴルフ選手権競技(10月20日〜24日)で決勝に進出し、高いポテンシャルを發揮しました。

2023年、さらなる飛躍が期待されます。

#### 〈平本世中選手からのメッセージ〉

2022年は、自分自身にとってとても濃い時間を過ごせました。

プロになって一年目で様々な経験をできたことは、今後の目標に大きく近づくと第一歩となりました。しかしながら足りない部分が多くまだまだ伸びしろがあると感じました。

2023年は4月から公式戦が始まるので、それまでにトレーニングや技術の練習をして、万全な状態でプレーできるように頑張りたいと思います。

これからも応援をお願いいたします。



## 新井沙希さん(半原出身)全日本大学女子駅伝出場

2022年12月30日、静岡県で開催された「第10回全日本大学女子駅伝競走大会」7区間・全43.4キロメートルに、本町出身の新井沙希さん(拓殖大学一年)が出場しました。

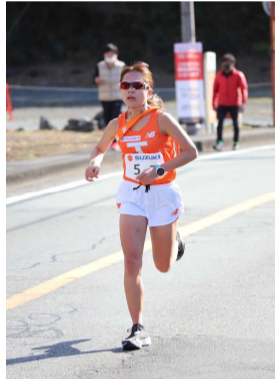
新井さんは、僅か4.6キロメートルの間に高低差169メートル、コースの中でも最も難関区間といわれる第7区(8.3キロメートル)で出場し、区間2位、チームの活躍に大きく貢献しました。

今後ますますの活躍が期待されます。

#### 〈新井沙希選手からのメッセージ〉

初めての全国大会で、自分の強みである登りの部分を活かすことができたのは良かったのですが、全国で戦うには、まだ力不足であると感じた大会でした。

チームとしては、全国優勝を目指しているので、それに貢献できる選手になることが自分の目標です。まずは、5000メートルで15分台を出して、大学トップの集団と戦える力をつけていきたいと思っています。



## 箕輪千慧さん(春日台出身)WEリーグ加入

2022年3月1日、女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)、INAC神戸レオネッサに、本町出身の箕輪千慧さん(日ノ本学園高校・兵庫)が加入、本町の女子プロサッカー選手が誕生しました。

箕輪さんは、中津第二小学校時代には、本町スポーツ少年団「ハリマオサッカークラブ」に所属、小学校卒業後には、愛川中原中学校に通学する傍ら「日ノ本学園高校」に進学、第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場し、準優勝を収められました。2019年にはU16日本女子代表、2020年にはU17日本女子代表候補に選出され活躍された箕輪さん。すでに二年目のシーズンを迎えている2023年、箕輪さんの益々の活躍が期待されます。

#### 〈箕輪千慧選手からのメッセージ〉

愛川町でサッカーをしていた小学生時代は一日中試合をする日もありました。また、当時お世話になった齋藤監督の言葉も年月が経つにつれて、意味や大切さを理解できるようになりました。

今思い返すと、もっと素直な心でサッカーを楽しめたら良かったです。

現在は、高いレベルの中で採りながらプレーをしています。監督や先輩の言葉を素直に受け止めて、サッカーを楽しみながら沢山のことを吸収したいです。

これからも、愛川町の皆さまに良いご報告ができるように頑張ります。



写真提供:INAC 神戸レオネッサ

## スポーツ協会主催スポーツセミナー紹介

令和5年2月19日(日)愛川町第1号公園体育館剣道場で、「bone fit セルフケア&体軸トレーニング」講座を開催しました。

つまた整骨院、院長の銚崎聖宗さんを講師にお招きし、骨盤と腰痛などのセルフケアと体軸を強化するトレーニング方法についてご指導いただきました。

当日は、町民の中から応募いただいた健康に興味のある方々23名にご参加いただき、「骨の構造や仕組みなどをとても分かりやすく説明していただき、2時間の講座があつたという間でした。」「毎日、簡単にできるセルフケアをたくさん教えてもらったので、今日から早速実践したいです。」「実際に腰や首、膝などを痛めていた方にもケアを施してくださり、すぐに効果が出て驚きました」との感想があり、有意義な講座となりました。



## 第34回全国健康福祉祭ねりんピックかながわ

34回目を迎える高齢者を中心としたスポーツと文化の祭典「ねりんピック」が、今年度は11月12日から15日までの三日間、神奈川県川県で開催されました。

本町からは14名のシニアアスリートがそれぞれ活躍されました。

★出場された皆さん★  
〔ベタンク〕高木姫代子さん、田村直治さん、成井範和さん、永井泰昭さん、吉澤正春さん、永井朋江さん〔軟式野球〕土館正明さん、日野芳輝さん〔剣道〕福岡孝幸さん〔ゴルフ〕吉川裕治さん〔ソフトテニス〕山口むつ美さん、板谷静子さん〔テニス〕大野健二さん〔グラウンドゴルフ〕竹下典子さん



## 2023シーズン開幕 頑張れ! SC相模

愛川町をホームタウンの一つとして活動するJリーグクラブ「SC相模原」の2023シーズンの公式戦がいよいよ3月4日に相模原ギオンスタジアムで開幕しました。今シーズン、元日本代表の戸田和幸さんが監督を務め、チームは新体制となりJ3リーグに挑みます。

また、今年度は愛川町在住・在勤の小学生がホームゲーム全試合を無料観戦できる「こどもフリーパス」や、18歳以下の方が500円で買えるお得な観戦チケットもご用意していますので、ぜひSC相模原の公式ホームページをチェックしてみてください!



#### 〈令和4年度スポーツ協会表彰受賞者〉

多年にわたり、社会体育の振興に寄与された功労者と、スポーツ部門で優秀な成績を収められた方々が表彰されました。受賞されました皆様の今後の更なるご活躍をお祈りいたします。

○社会体育の振興に寄与された功労者  
小野澤茂(ゲートボール協会)  
上村正和(ターゲット・バードゴルフ協会)  
清田洋二(ソフトボール協会)  
小林由季、齋藤伴平(サッカー協会)  
○スポーツ部門  
第50回神奈川県中学校選抜剣道大会  
女子団体の部準優勝  
女子個人の部準優勝  
小林真緒(相模原市立田名中学校3年)

#### 〈編集後記〉

日頃、町スポーツ協会の事業運営にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

三年振りに開催されたスポーツ・レクリエーションフェスティバルや駅伝大会でも、数々のドラマが生まれました。体を動かした子どもたちの笑顔や、一生懸命に走る選手たちの姿は「スポーツは素晴らしい」と訴えてくるようで、「感動」を体感することに枯渇していたこともあり、より深く心に残りました。

我々スポーツ協会では、スポーツの楽しさや感動を少しでも多くの人に感じていただけるように事業運営を進めていきたいと思っておりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

愛川町スポーツ協会啓発宣伝委員会  
委員長 岩下竜一